⑩日本国特許庁(JP)

@ 特許出願公開

⑩公開特許公報(A)

平1-100662

@Int_Cl_4

識別記号

庁内整理番号

④公開 平成1年(1989)4月18日

15/20 G 06 F G 09 G 1/00

H-7218-5B S-6974-5C W-6974-5C 301

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

の発明の名称 **宏示装置**

②特 頤 昭62-258901

田田 20 昭62(1987)10月14日

個発 眀 者 宵 柳 砂発 明 者 柘 植 眀 部 79発 者 宮

早 苗 晃 幸

大阪府門真市大字門真1006番地 大阪府門真市大字門真1006番地 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器產業株式会社内 松下電器産業株式会社内

荽 個発 眀 者 楯 野 朥

大阪府門真市大字門真1006番地

松下電器産業株式会社内 松下電器産業株式会社内

久 创出 顋 人 松下電器產業株式会社 敏男 四代 理 人 弁理士 中尾

大阪府門真市大字門真1006番地

外1名

1、発明の名称

麦示装置

2、特許請求の範囲

文章や図形。表等を含むデータを配憶するデー タメモリと、前記データメモリに格納されたデー タの表示方法を指定する指示メモリと、前記デー タメモリに格納されたデータの相互の関係を記憶 する関連メモリと、表示する時のレイアウト情報 を記憶するレイアウトメモリと、前記指示メモリ に格納された指示データを入力して前記関連メモ りに格納された関連データを競出し前記レイアウ トメモリの内容に従って表示単位分に相当する表 示内容を決定して表示するデータや表示単位内で のレイアウト方法等の表示方法を出力するレイア カト装置と、前記レイアカト装置から出力に接続 され前記データメモリに格納された文章や図形等 を前記表示情報に指示されたようにフレームメモ、 リやCR丁等の妻示配の終当位置に出力する表示 制御装置とを備えることを特徴とする表示装置。

3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は、文章情報処理に用いられ文章と関連 する図形や妻が利用者の選解しやすいように同時 に要示装置上に文書のレイアウトを行う表示装置 に関するものである。

従来の技術

近年、電子的に文書を取り扱う機器が普及する とともに文書を要示装置に表示して利用する機会 が増加し、表示装置の表示領域の範囲内でできる 限り見やすい情報の提示を提供することが必要と なっている。

以下、図面を参照しながら、従来の表示装置の レイアウト方法の一例について説明する。

第3図は、従来の文書表示装置の構成図を示す ものである。第3図において、1は現在表示され ている表示内容に関する情報を格納するレイアウ トメモリ、2は文章や図形。 表等を格納するデー タメモリ、3は現在表示されている先頭位置から 表示領域に表示できる量の文章や図形、表等をフ

レームメモリやCRT等の表示部に出力する表示 制御装置である。

以上のように構成された表示**壊**置について、以 下その動作を説明する。

発明が解決しようとする問題点

3

モリと、文章や図形、衷等のデータを格納するデータメモリと表示の方法を指定する指示メモリと、指示メモリの内容に従い、レイアウトメモリと関連メモリの内容を用いてデータメモリの内容を表示単位毎に表示するためのデータを出力するレイアウト装置と、データメモリの内容を表示方法に従って表示部に出力する表示制御装置という構成を確えたものである。

作用

本発明は、上記した構成によって、関連する文 乗や図形。 安等を同時に表示するように指示でき ることとなる。

実施例

以下、本発明の一実施例の表示装置について、 図面を参照しながら説明する。

第1図は本発明の一実施例における表示装置の ブロック図を示すものである。

第1図において、1は、表示方法を利用者など が外部から入力する入力装置、2は、表示方法を、 指定するデータを記憶する指定メモリ、3は、関

本発明は上記問題点に鑑み、関連のある文章と 図形や変帯を同時に表示するように指定すること ができる装置を提供するものである。

問題点を解決するための手段

上記問題点を解決するために、本発明の表示装置は、関連する文章や図形、 表等の集合を示す関連メモリと、現在表示している表示領域の内容や位置等のレイアウトは観を蓄積するレイアウトメ

4

理する文章や図形、表等の集合を記憶する関連メモリ、4は、現在表示されている表示内容に関する情報を格納するレイアウトメモリ、5は、文章や図形、表等を格納するデータメモリ、6は、文章で図形、表等を決定するレイアウト装置、フは、データメモリに格納された文章や図形、表では、データメモリやCRT等の表示部に出力する表示制御装置、8は、表示部である。

上記のように構成された表示装置について、以 下その動作を説明する。

指示メモリ2は、ロールを行う時に図形や表を 問時にロールするか、図形や表は固定にして文章 のみロールするかを指示したり、図形や表を配号 化して表示する、等を指定するデークを入力装置 1から入力し格納する。レイアウトメモリリは現 在表示している文章の先駆と最終の文字を指定す るデータと図形。表等の大きさや位置のような表 示範囲を示すデータを含んでいる。また、データ メモリ5は、文字列と表示の単位であるたとえば

第2図は本発明の一実施例における表示装置の 表示部分の遷移を示す例である。第2図(a)。 (b)。 (c)について表示単位1と表示単位2は同時に表示 しないが、図形Aと表Aに関連のある文章が表示 されている時は、図形Aと表Aを常に表示するよ うに指示している。

表示単位 2' は、上記で図形 A の大きさを変更

7

により同時に表示し関連する内容を利用者の理解 しやすいレイアウトで出力することができる文書 表示装置を提供することができる。

4、図面の簡単な説明

第1回は本発明の一実施例における文書表示装置のブロック図、第2回は本発明の一実施例における文書表示装置の表示部分の遷移の例を示す説明図、第3回は従来例の文書表示装置の表示部分の 選移の例を示す説明図である。

1 … … 入力装置、 2 … … 指示メモリ、 3 … … 関連メモリ、 4 … … レイアウトメモリ、 5 … … データメモリ、 6 … … レイアウト装置、 7 … … 表示制御装置、 8 … … 表示部。

代理人の氏名 弁理士 中尾敏男 ほか1名

した場合である。第2回(の。(a)、(f)について衰示 単位1をロールした時表示単位1、が表示される。 図形Aは、関連のある文章A1、A2が表示され ている間ロールしないように指示している。

表示単位1 "は、上記で図形 A の大きさ変更した場合である。

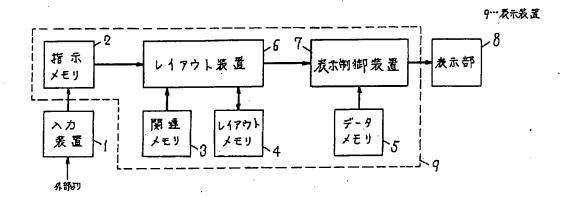
以上のように本実施例によれば、文章または図形や変の中で相互に関連のある物の関係を関連メモリを設けることにより、領域の表示単位の中に収まらず表示されなかった文章または図形や表を同時に出力することができる。なお、上記の実施例において、指示メモリ2に、図形や表の位置や大きさを変更する指示データを付加することにより利用者の見やすい表示出力を提供することもできる。

発明の効果

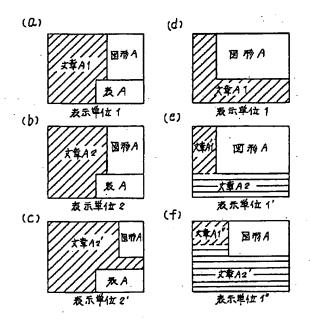
以上のように本発明は、文章と図形や要等を同時に表示するようデータの相互の関連性を関連メモリに格納し、現在表示中の表示領域の内容を配信するレイアウトメモリを設けてレイアウト装置

.

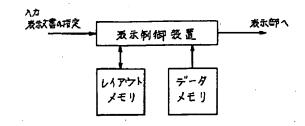
第 1 図



第 2 図



第 3 図



第 4 例

